

避難所である一の宮体育館で「避難者名簿」に記入する参加者たち



WebTV アソ
動画

大雨時の災害に備え、対策を万全に。 手野地区と片隅区で避難訓練

一昨年の九州北部豪雨災害を教訓に、梅雨時期の大雨に備えようと5月25日、手野地区と片隅区を対象に避難訓練が行われました。大雨洪水警報が発令され、集中豪雨により土砂災害警戒情報が発令されたと想定で、防災行政無線

やお知らせ端末などで避難を呼びかけると、113世帯254人が避難場所である一の宮中体育館に次々に避難。一方、市役所では消防団への情報伝達や連携、避難所開設業務など、大雨時の対応を確認しました。参加者は「一昨年の大雨

を経験し、少しの雨でも心配になり、早めに避難するよう心掛けるようになった」「避難経路の確保を急いでもらいたい」という声が聞かれました。

危険を回避！早めの避難！

災 害から命を守るためには、危険な場所から避難することが一番です。雨・風が強くなったり、雷がひどい中では、安全に避難することはできません。特に、夜間の行動は危険を伴います。

夜半や未明に大雨が予想される場合や台風の暴風域・強風域に入ることが予想される場合など、「暗くなる前、雨が降り出す前、風が強まる前」の安全なうちに避難を行いましょう。

「まだ大丈夫」など、避難に対して危機意識が薄れると危険です。あなたの行動が、ご近所に避難意識を促すサインにもなり、周りの方の命も救います。

●自主避難所の開設

状況に応じ、左記4つの自主避難所を開設します。開設は、防災行政無線とお知らせ端末でお知らせします。ご不明な点は、総務課（☎22 - 3111）までお問い合わせください。

▷一の宮保健センター ▷農村環境改善センター
▷阿蘇西小学校体育館 ▷波野保健福祉センター

※避難される際は、食べ物や毛布、服用薬など必要な生活用品をご準備のうえ避難をお願いします。

九州北部豪雨災害犠牲者への黙とうをお願いします

阿蘇地域を襲った豪雨災害から、7月12日で2年を迎えます。不幸にも犠牲となられました方々のご冥福をお祈りし、7月12日（土）午前9時に、防災行政無線にてサイレンをならします。黙とうのご協力をお願いします。

問い合わせ 市役所総務課

☎ 22 - 3111

阿蘇外輪の過酷なコースを力走

第24回阿蘇カルデラスーパーマラソン大会



(上) 波野支所前をスタートするランナーたち
(下) 婦人会の皆さんがキュウリの漬物などでおもてなし

高低差500以上の過酷なコースとして知られる第24回阿蘇カルデラスーパーマラソン大会が6月8日行われ、全国各地から1685人が参加し、力走しました。

本大会は、阿蘇広域行政事務組合が主催し、南阿蘇村からの100キロコースと波野支所からの50キロコースの2コースで開催。阿蘇外輪を走る過酷なレースということもあり、5キロごとにエイドステーションを設け、阿蘇地方名物のそばや季節のフルーツなど

充実した給食が特徴で、ランナーから好評を得ています。

ことは、レース途中で雨に見舞われましたが、沿道の市民からの暖かい声援に押され、約8割の1300人が完走を果たしました。

ゴール地点の農村環境改善センターでは、阿蘇市地域婦人会阿蘇支部の皆さんが、ランナーの力走を称えようと、地元産のキュウリやイチゴなどでおもてなし。また、多くの地元中学生、高校生もスタッフとして協力しました。

日本一のお米に！ 阿蘇中央高校で田植え



目印に合わせて苗を植える生徒たち

農業体験を通して、勤労と食糧生産の重要性を学ぼうと、阿蘇中央高校の春牧農場で5月26日、毎年恒例の1年生一斉田植えが行われ、生徒186人が望みました。

植え付けした米の品種は、昨年度の全国お米甲子園で特別優秀賞を受賞した「コシヒカリ」で、生徒は、30歳の

水田の両脇に並び、一本一本丁寧に植え付け、約2時間かけて田植えを行いました。作業後は、保護者がにぎったおにぎりで労を癒しました。

農業食品科の生徒は「楽しくできた。日本一のお米を目指してしっかり手入れしていきたい」と意気込んでいました。

[お詫びと訂正] 広報あそ6月号に掲載した記事について、以下のとおり訂正してお詫びします。

- ▷ 5頁 3段目 [誤] 活動用品の不足 [正] 活動要員の不足
- ▷ 22頁 [誤] 佐藤和夫(西町) [正] 佐藤和夫(竹原)



WebTV アソ
動画

40年以上にわたり消防活動に尽力 佐藤義勝氏に瑞宝双光章

消防団員を40年9か月の永きにわたり務め、消防業務に貢献し功績があったとして、佐藤義勝氏（71歳、中江区）が瑞宝双光章を受章しました。

佐藤氏は波野村消防団員として昭和39年7月1日に入団、平成5年は団長に就任。その後、町村合併後の平成17年3月までの間、日常的な予防消防活動をはじめとして、地域住民の安心安全なく



らしの実現に寄与されました。また、平成8年から14年まで、熊本県消防協会阿蘇支部長として、消防人としての能力をい

5月22日、佐藤市長に報告に訪れた佐藤氏は「周りの人たちからの支えがあつてからこそこの受章。これから恩返しができれば」と、喜びを語られました。

甘～いイチゴ、ありがとう！ 乙姫保育園でイチゴ狩り



乙姫保育園の園児31人が5月29日、地元のイチゴ農家の招待を受け、イチゴ狩りを行いました。

イチゴ農家の松本昭信さん・チズルさん夫妻が「地域の子どもたちに喜んでもらえれば」と、イチゴ栽培のシーズン終わりの時期に合わせて4年前から招待しているものです。

園児は、ビッシリと実ったイチゴを摘み取り、「甘くてとっても美味しい！」と、満足したようすでした。

父の日には牛乳を！

大阿蘇酪農組合女性部（井ゆかり部長）が6月6日、市役所を訪れ、父の日に合わせて市民のお父さんを代表して佐藤市長に牛乳を贈呈しました。

牛乳販売促進の一環で「父の日には牛乳を贈ろう！」と題し、毎年行っているもので、ことしも市役所のほか各公共機関などで販売を行いました。

井部長は「牛乳を飲んで毎日のお仕事頑張ってください」とエールを贈りました。

